

## スタートコーチ(教員免許状所持者)

### Q&A

#### ■ 全体

Q なぜ教員免許状所持者を対象とした資格を創設したのか

A 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言(案)では、中学校等の運動部活動について、休日の運動部活動から段階的に地域移行することが示されています。また、提言(案)では、地域移行後の地域における指導者の質の保障・量の確保方策や、指導を希望する教師等の在り方等について整理されています。

具体的には、「指導者の質の保障」として、専門性や資質・能力を有する指導者を確保していく必要があり、指導者資格の取得や研修の実施を促進する必要性が示されています。併せて専門的な知識や技量、指導経験があり、かつ、地域でのスポーツ指導を強く希望する公立学校の教師等の公務員が、兼職兼業の許可を得るなどにより地域でスポーツ指導できるようにすることが、地域スポーツ振興の観点からも効果的であることが示されています。

公益財団法人日本スポーツ協会(JSP0)では、スポーツ指導の専門家として、指導者養成の基準カリキュラムとして国が策定した『コーチ育成のための「モデル・コア・カリキュラム」』に基づき、JSP0公認スポーツ指導者を養成しており、2021年10月現在、約20万人を認定していますが、その多くは、すでに指導現場を持っているため「新たな地域スポーツ環境」では指導可能な人数には限りがあると考えています。

上記を踏まえ、運動部活動の顧問をされている教員のうち、スポーツ指導に積極的な教員の方で、まだ公認スポーツ指導者資格を取得されていない方を対象に、本資格の養成を2022年6月から開始することといたしました。

この機会に、本資格や競技別資格などのJSP0公認スポーツ指導者資格の取得についてご検討いただき、JSP0公認スポーツ指導者として地域スポーツにおいても生徒をはじめとするプレーヤーのスポーツライフをご支援いただきたいと考えています。

なお、本資格を含むJSP0公認スポーツ指導者資格は、大会等のルールで特定の資格保有が義務付けられている場合を除き、部活動を含む、一般的なスポーツ指導の場において保有が義務付けられているものではございません。一方で、資格取得時に学んでいただく内容は、スポーツ指導時に必要な資質能力を修得するための内容を体系的にまとめたものとなっており、日頃の部活動の指導等を通して得られた専門的な知識や技量に関する学び

を深めていただける機会であると考えております。

JSP0 公認スポーツ指導者資格は、スポーツ指導に関連した資格としては日本国内で最大規模であり、国が策定したカリキュラムを採用した資格となります。そのため、JSP0 公認スポーツ指導者資格を取得いただくことは、指導スキルの向上を含めたご自身の研鑽になる事はもちろんのこと、子どもたちや保護者等が望む安心、安全なスポーツ環境の構築に寄与する事などに繋がると考えています。

Q 養成目標は？

A 公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）が2021年に実施した顧問教員を対象にした「学校部活動指導者の実態に関する調査」と「学校基本調査」とスポーツ庁が実施した「運動部活動等に関する実態調査」の結果から、JSP0 公認スポーツ指導者資格が未保有で、部活動が地域移行された場合の希望として「兼職兼業の許可を得て自身が指導したい」教員の人数が、中高あわせて推定 62,400 人（保健体育を含む）となりました。同じく、部活動が地域移行された場合の希望として「どちらともいえない」と回答した教員の人数が、中高あわせて推定 80,200 人となっています。以上の結果を踏まえると、10 万人前後が受講者となることをと想定しており、今後の運動部活動改革の内容等を踏まえつつ、養成を進めていきたいと考えています。

|     | 教員数     |           | 資格保有  |            | 資格未保有 |            |                    |            |           |            |
|-----|---------|-----------|-------|------------|-------|------------|--------------------|------------|-----------|------------|
|     | R3調査    | 運動部顧問     | 全体    |            | 全体    |            | 兼職兼業の許可を得て自身が指導したい |            | どちらともいえない |            |
|     | 人       | 人<br>(推計) | 割合    | 人数<br>(推計) | 割合    | 人数<br>(推計) | 割合                 | 人数<br>(推計) | 割合        | 人数<br>(推計) |
| 中学校 | 248,253 | 174,000   | 10.0% | 17,400     | 90.0% | 156,600    | 21.1%              | 36,700     | 25.7%     | 44,700     |
| 高校  | 214,978 | 132,000   | 20.0% | 26,400     | 80.0% | 105,600    | 19.5%              | 25,700     | 26.9%     | 35,500     |
|     | 463,231 | 306,000   |       | 43,800     |       | 262,200    |                    | 62,400     |           | 80,200     |

Q 取得推奨資格について

A 公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）公認スポーツ指導者資格が未保有で、部活動が地域移行された場合の希望として「兼職兼業の許可を得て自身が指導したい」教員に取得を推奨する資格としては、「スタートコーチ（教員免許状所持者）」に加え、教員免許状の科目と指導対象によっては、既存の競技別指導者資格も推奨資格としています。保健体育の教員の方が、より競技性や専門性が高い指導を行う可能性が高く、高校生ではさらに高いコーチングスキルが求められるため、保健体育

の教員が中学生を指導する場合は指導している競技の「コーチ1」を、高校生を指導する場合は「コーチ3」を推奨資格としています。

## ■ 資格概要

### Q スタートコーチ資格について

A 2019年度から養成を開始した競技別指導者資格です。公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）公認スポーツ指導者制度に記載しているスタートコーチ資格の役割は以下のとおりです。

#### ア. スタートコーチ

地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等において、必要最低限度の知識・技能に基づき、当該競技の上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する者

2021年10月現在の認定者数はバレーボール783名、ハンドボール259名。2021年度からはスポーツ少年団の指導者を対象としたスタートコーチ（スポーツ少年団）資格の養成を開始しています。

なお、スタートコーチ（教員免許状所持者）資格は、競技別ではなく、講習の内容においても特定の競技のスポーツ指導に関する内容は含んでおりません。競技によっては、当該競技のスタートコーチ資格を養成しているため、スタートコーチ（教員免許状所持者）資格ではなく、当該競技のスタートコーチ資格やコーチ1資格の取得をご検討ください。

### Q オンライン以外での講習の開催予定について

A 当面はオンラインのみでの開催を予定しています。受講開始から資格認定までの期間を短期間にするため、すべてオンライン形態で実施しています。

### Q オンラインでの申込方法は？

A 公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）において開設している公認スポーツ指導者資格認定者や受講者用のインターネットサービスである「指導者マイページ」を作成いただき、同ページから申込いただきます。

### Q 教員免許状の種類は？

A 教員免許状には、大きく以下の種類がありますが、いずれの免許状でも受

講可能です。

●普通免許状

●特別免許状

●臨時免許状

また、学校の種類ごとの免許状（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）もございいますが、いずれの免許状でも受講可能です。

Q 教員として勤務していなければ受講できない？

A 上記のいずれかの免許状を保有していれば、勤務の有無にかかわらず受講可能です。

Q 受講条件となっている部活動指導経験について

A 指導期間等は不問で、今後スポーツ指導に携わる予定がある場合も受講可能です。

例えば初任者で部活動の顧問を担当することになった方が指導開始直後に受講する場合も受講は可能です。

地域や自治体によっては小学校においても部活動と同様の活動を実施しているケースもあり、そういった活動における指導経験も含むものとします。また、教員免許状を所持しているものの、学校現場での教育経験を有していない場合は、何らかのスポーツ指導の経験を有していれば受講可能です。

Q 受講費用について

A 費用の詳細はホームページ内に記載をしております。なお、講習をすべてオンライン形態とすることで、他の公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）公認スポーツ指導者資格の受講料よりも低廉な受講料としています。

## ■ 講習概要

Q 教材について

A テキスト（スタートコーチ用リファレンスブック）は、PDF データを各受講者が使用しているパソコンやスマートフォンなどにダウンロードいただく形態となります。プリントアウトも可能です。

Q テキスト(デジタルブック)の購入免除について

A 既に他のスタートコーチ養成講習会を受講しており、テキスト（紙版）を所持している場合は、購入が免除となります。

その場合は、受講申し込み前に下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

E-mail: sc@japan-sports.or.jp

Q 共通科目のオンラインテストについて

A テキストの内容に基づき、コーチングスキルや医・科学的知識等に関する択一式の全 50 問が出題されます。テキストを読みながら、期間中であれば合格するまで、何度でも受検が可能です。

Q 専門科目について

A 教員免許状を取得する過程で、教育に関する資質能力を身に付けられていることに鑑み、スポーツ指導者として最低限必要となる態度や考えを確認する内容として、現在、スポーツ界で問題になっているハラスメントを防止するための動画の視聴を行っていただきます。

Q 受講の免除について

A スタートコーチ（教員免許状所持者）の受講にあたっては、取得資格等に基づく免除はございません。

Q 他の公認スポーツ指導者養成講習会との重複受講について

A スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会を除き、本資格の受講が修了するまでには、他の公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）公認スポーツ指導者資格養成講習会を重複して受講することはできません。